

取扱説明書

SHREWD
AMBITION

733

このたびはリコークオーツをお買い上げいただきありがとうございました。ご使用の前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ正しくご愛用くださいますようお願い申し上げます。

この取扱説明書に記載されている機種番号は、時計の裏ボタンに刻印されている8桁の番号のうち、上3桁と同一のものです。お買い上げの時計の裏ボタンをご覧ください、該当する機種番号欄記載事項をお読みください。

なお、この取扱説明書はお手元に保管し、必要に応じてご覧ください。

特に ⚠(注意) マーク、赤文字の所は、よくお読みのうえ厳守してください。

特長

この時計は、「光」エネルギーによって動きます。

●文字板の下にあるソーラーセルが光を電池エネルギーに換えます。

・フル充電で、約6ヶ月動き続けます。

●「電池交換」は不要です。

・一般のクオーツのような酸化銀電池を使用しておりませんので、「電池交換」は不要です。

●「エネルギー切れ予告機能」付きです。

・充電量がある程度まで減少すると、「2秒運針」して充電の必要なことを知らせます。

・「2秒運針」になって、それ以降充電しないと約3日以内に止まる可能性があります。

●「即スタート機能」付きです。

・止まっている時計に光をあてるとすぐに動き始めます。

●一般のクオーツウォッチとは違い、旅行中や海外での使用時などに電池寿命切れを気にすることなくご使用いただけます。

●時・分・秒の他に、24時、日付け、曜日も針で示します。

※24時針は時計に連動して動きます。単独には修正できません。

※曜日を示す曜針には、修正機構がありませんので、時刻合わせの際、時・分針を回して合わせるようになります。→「■ご使用方法」をご参照ください。

ご使用にあたって

この時計は「止まっている状態」で光をあてると動きだします。

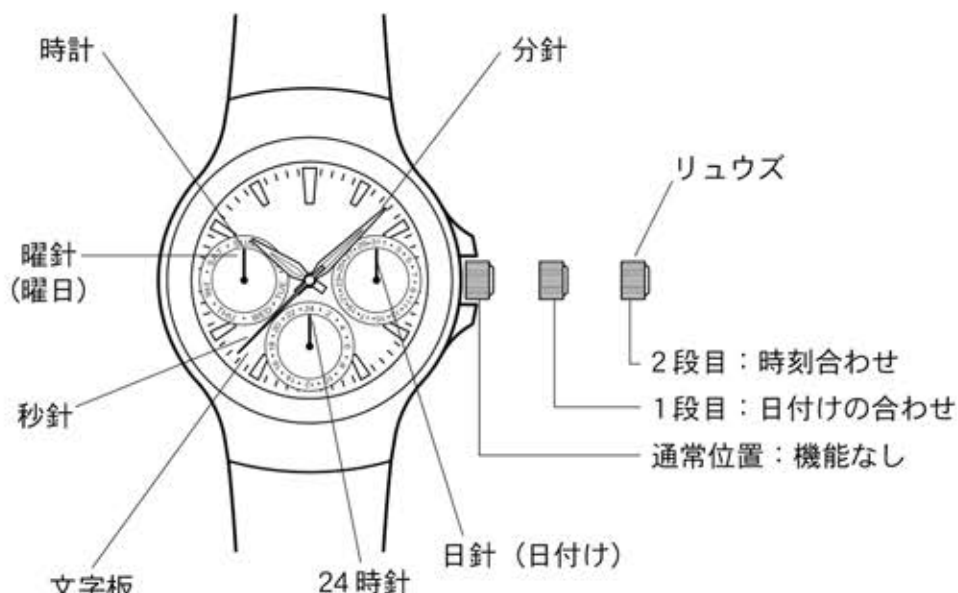
●この時計は一度フル充電すると、約6ヶ月間動きます。

●光を十分あてないと、6ヶ月に満たないうちに止まる場合があります。

※フル充電状態からさらに充電しても過充電防止機能がはたらきますので安心してご使用いただけます。



各部の名称とはたらき



※この下にソーラーセル（太陽電池）があります。

充電時間のめやす

光の明るさによって充電時間が異なります。次の表をめやすにしてください。

照 度 (LX)	光 源	環 境 (めやす)	フル充電までの 充電時間	確実な 1 秒運針になる までの充電時間	毎日動かすために 必要な充電時間
500	白熱灯	60W 60cm	約 250 時間	約 15 時間	約 1 時間
700	蛍光灯	一般オフィス内	約 175 時間	約 11 時間	約 50 分
1000	蛍光灯	30W 70cm	約 120 時間	約 6 時間	約 30 分
3000	蛍光灯	30W 20cm	約 40 時間	約 2 時間	約 10 分
5000	蛍光灯	30W 12cm	約 22 時間	約 80 分	約 6 分
1 万	蛍光灯	30W 3cm	約 10 時間	約 30 分	約 3 分
1 万	太陽光	曇天の屋外	約 10 時間	約 30 分	約 3 分
10 万	太陽光	晴天の日の直射日光	約 3 時間	約 8 分	約 1 分

⚠ 注意

- ・ 充電の際、照明ライト、スポットライト、白熱灯などに近付けすぎると、時計本体が高温になり、部品が損傷したり、内部の機能が損なわれる恐れがありますのでご注意ください。
(光源に近づけての充電は蛍光灯が適しています)
- ・ 太陽光で充電する際にも、車のダッシュボード等では、かなりの高温となりますのでご注意ください。
- ・ 時計本体が 50℃ 以上にならないようにしてください。

「止まっている状態」から動かすとき

＜即スタート機能＞ 付きです。

- ・ 太陽光または、1000LUX (蛍光灯 30W 直下 70cm) 以上に数秒間あてると [2 秒運針] を始めます。
- ・ 時計が動き始めてからも、十分に充電されるまでは [2秒運針] を続けますのでご注意ください。

[2 秒運針]

[正常な運針]



引き続いて「光」を
充分にあてる

1 秒運針

「即スタート機能」が働いて、時計が動きだしても [2 秒運針] のままでは充電が不十分です。この状態で光をさえぎると止まってしまう可能性がありますので、さらに充電して、1秒運針になってから携帯してください。

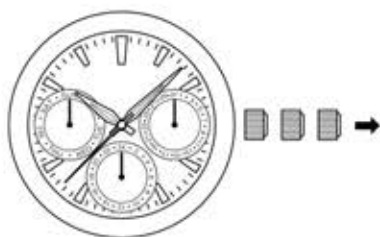
※また、左の表にある時間まで充電しなくても、1秒運針になりますがその状態では、すぐに2秒運針に戻る場合もありますので、この時間をめやすに充電してください。

※充電所要時間の設定にあたっては標準的なモデルをベースにしておりますので、文字板等のデザインによっては必要な充電所要時間に差がでる場合があります。

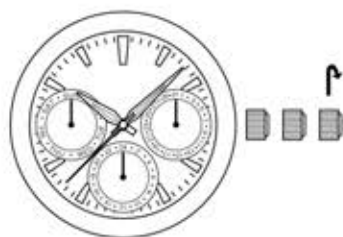
ご使用方法

●曜日の合わせかたと時計の合わせかた

曜日を示す曜針には修正機構がありませんので、時計合わせの際、時・分針を回して曜日を合わせることから始めます。

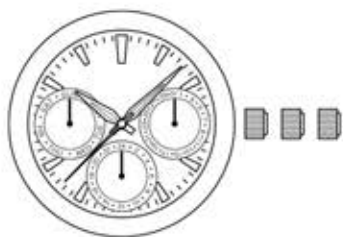


- ① 秒針が12時位置(0秒)に来たときにリュウズを2段目まで引き出します。時計が止まります。

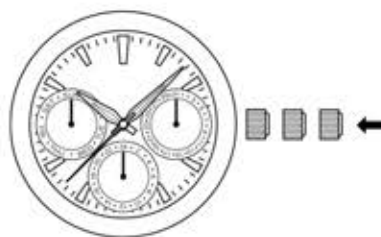


- ② リュウズを右に回し、時・分針を進めていき、午前0時を通過すると、曜針が動き始めます。曜針が次の曜日を指し示すまでさらに時・分針を進めてください。
曜針をさらに送る必要がある場合は、逆に時・分針を4～5時間分戻してから、再び進み方向に時・分針を回すと、曜針を早く進めることができます。これを繰り返して、曜日を合わせてください。

※ リュウズの回転は静かに行ってください。



- ③ 曜日を合わせたら、時刻合わせをします。



- ④ 合わせた時刻の時報を待ち、時報と同時にリュウズを押し込んでください。

※ 午前午後を間違えないように、合わせてください。(日付け・曜日は24時間に1度変わるように設計されています)

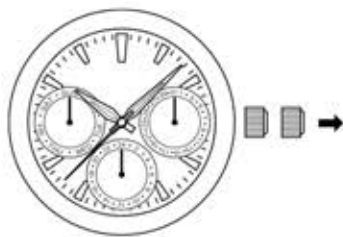
※ 正確に合わせるためには、分針を正しい時刻より4～5分進めてから逆に戻して合わせてください。

※ 時刻合わせには、電話の時報サービスTEL 117が便利です。

●日付けの合わせかた

時刻合わせ後、日付けを合わせ直すとき。

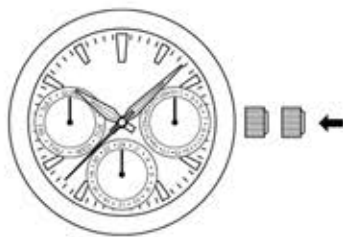
前月が小の月(1ヶ月の日数が30日の月と2月)で月初の日付けの修正のときに行います。



- ① リュウズを1段目に引き出してください。



- ② リュウズを左に回して日付けを合わせてください。



- ③ 合わせ終わったら、リュウズを押し込んでください。

※ 日針の動きを確認するように静かにリュウズを回してください。

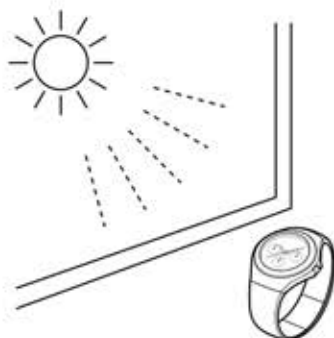
※ 時計の針が、午後9時～午後1時にあるときは、日付けの合わせをしないでください。合わせができなかったり、合わせても次の日に日付けが変わらないことがあります。

携帯中 [2 秒運針] にならないご使用方法

袖口から時計が出るように腕につけてください。こうすれば、常に [1 秒運針] の状態で携帯できます。

- ・ 時計をはずしておくときは、できるだけ明るい所に放置してください。

＜昼間＞



明るい窓ぎわ

＜夜間＞



蛍光灯スタンドの下

- ・ ご就寝になる際 [2 秒運針] になっているときは、[1 秒運針] になるまで、充電してから放置することをおすすめします。

※ 50℃以上の高温にならないようにしてください。

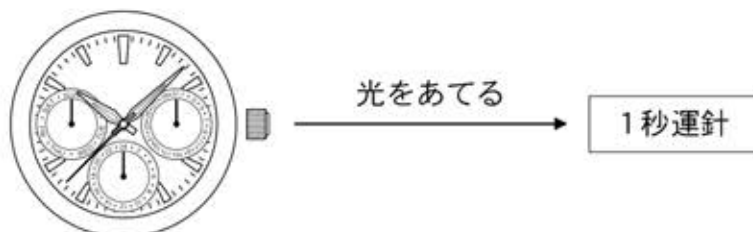
携帯中に [2 秒運針] になった時

[エネルギー切れ予告機能]

エネルギーが不足してくると [2 秒運針] して、“もうすぐ止まる”という警告を表わします。ただちに光をあて（1 秒運針）になってから携帯してください。

＜2 秒運針＞

＜正常な運針＞



[2 秒運針] を始めてから、光をあてないで約 3 日以内に止まる可能性があります。

※ 50℃以上の高温にならないようにしてください。

製品仕様

1. 水晶振動数 32,768Hz (Hz=1秒間の振動数)
2. 精度 平均月差± 20秒 (気温5℃～35℃において腕につけた場合)
3. 作動温度範囲 - 5℃～+ 50℃
4. 駆動方式 ステップモーター式
5. 使用電源 チタンリチウムイオン二次電池
6. 駆動持続時間 フル充電から止りまで：約6ヶ月
2秒運針から止りまで：約3日
7. その他の機能 即スタート機能
エネルギー切れ予告機能
過充電防止機能
8. 電子回路 発振・分周 充電制御回路
(C-MOS-IC):1個

※使用は改良のため予告なく変更することがあります。

使用電源について

- ・時計には、一般の電池とは異なる専用の二次電源を使用しておりますので、電池交換は不要です。
- ・この二次電源は、環境に対して影響の少ないクリーンな電源です。
- ・リゅうずを2段目まで引き出して時計を止めておいても、充電量の維持はできませんのでご注意ください。

注意

- ・破裂、発熱、発火などの恐れがありますので、一般の酸化銀電池は絶対に組み込まないように、ご注意ください。万一組み込まれても、回路に電気が通らない構造になっています。

二次電池の交換について

この時計に使われている二次電池は充電、放電を繰り返し行えるため、一般電池のような定期的な電池交換の必要はありません。



二次電池の取り扱いについて

※お客様は時計から二次電池を取り出さないでください。

※やむを得ず二次電池を取り出した場合は、誤飲防止の為、幼児の手の届かない所に保管してください。

※二次電池を万一飲み込んだ場合には、直ぐに医師と相談して治療を受けてください。